

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 eBASE株式会社

コード番号 3835 URL <http://www.ebase.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 常包浩司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO

(氏名) 窪田勝康

TEL 06-6486-3955

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	593	△3.3	29	△24.3	30	△31.2	17	△34.0
25年3月期第1四半期	614	△1.1	39	19.2	44	8.2	27	15.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 18百万円 (△33.7%) 25年3月期第1四半期 27百万円 (15.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.09	3.08
25年3月期第1四半期	4.69	4.69

※当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式400株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	1,663	1,452	86.8	249.05
25年3月期	1,796	1,490	82.5	255.71

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,443百万円 25年3月期 1,481百万円

※当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式400株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3,900.00	3,900.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	9.85	9.85

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式400株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期(予想)は当該分割後の金額であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,275	△3.5	118	△26.3	120	△28.1	74	△24.9	12.84
通期	2,830	0.2	456	2.6	460	1.5	285	1.7	49.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	5,895,600 株	25年3月期	5,895,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	100,000 株	25年3月期	100,000 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	5,795,600 株	25年3月期1Q	5,793,600 株
----------	-------------	----------	-------------

※当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式400株の割合で株式分割を行っております。発行済株式数は、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和・機動的な財政政策・民間投資を喚起する成長戦略を基本方針とする経済政策、いわゆる「アベノミクス」への期待感により円安・株高が進行し、景気回復の兆しがみられる等、デフレ脱却・経済成長への期待が高まっています。

情報サービス分野では、企業の情報化投資に対する取り組み姿勢にやや積極性が見えるようになってきたものの、引き続き厳しい事業環境が続いています。

このような環境の下、当社グループは、パッケージソフトビジネスのeBASE事業と、IT開発アウトソーシングビジネスのeBASE-PLUS事業で構成されています。

eBASE事業は、CMS (Content Management System) 開発プラットフォーム「ミドルウェアeBASE」をコアコンピタンスとし、様々な商品情報を管理・運用できるパッケージソフトウェアとして業界毎における商品情報交換の全体最適化を目指し、食品業界、住宅業界、文具業界等向けのパッケージソリューションを継続的に開発提供するとともに、「ミドルウェアeBASE」を利用し、顧客別にカスタマイズしたコンテンツマネジメントソフトの開発販売を推進しています。その「ミドルウェアeBASE」を商品マスターだけでなく、顧客マスター、社員マスター等、基幹系システムのマスターデータマネジメントシステムとしての利用推進を始めました。

そして、eBASE-PLUS事業は、顧客企業ニーズに従ったシステム構築・開発・サポート等のIT開発アウトソーシングビジネスを推進しています。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高593,965千円（前年同四半期比20,419千円減）、営業利益29,899千円（前年同四半期比9,596千円減）、経常利益30,708千円（前年同四半期比13,924千円減）、四半期純利益17,917千円（前年同四半期比9,235千円減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

#### (イ) eBASE事業

[食品業界向けビジネス(食の安心安全管理システム/FOODS eBASE)]

食の安全情報交換の全体最適化を図りながら「FOODS eBASE」の拡販を推進しました。また、標準化と機能強化を継続し、利便性向上による無償ユーザーの大幅増を図り、有償ソフトの拡販と既存ユーザーのクロスセル・アップセルの実現に努めました。これにより、主力の食品業界向けビジネス(食の安心安全管理システム/FOODS eBASE)は、企業間における商品情報交換プラットフォームとしてのニーズが底堅く継続しております。eBASE商品情報交換の普及に伴い、「FOODS eBASE」の採用や社内他システムとの「FOODS eBASE」連携事例の増加による継続受注案件の引き合いが増加している状況となりました。また、クラウド&ストックビジネスでは、既存のサポートビジネスは概ね順調に推移しました。導入型「FOODS eBASE」を安価かつ、簡易に利用できる「FOODS eBASE Cloud」ビジネスの推進も継続して行いました。さらに加工食品のメーカーブランドであるNB(ナショナルブランド)商品の食の安全情報を、メーカー企業/小売企業間で効率的に交換できる「FOODS eBASE NBセンター」クラウドサービスの推進にも注力しました。この結果、売上高は計画比及び前年同四半期比で微増となりました。

[その他業界(顧客別にカスタマイズした商品詳細情報管理システム/GOODS eBASE)]

特化した工具業界への攻略アプローチを継続して取り組みました。さらに、住宅業界向けソリューションへの水平展開を推進しました。業界別パッケージソフトを容易に開発してきたCMS (Content Management System) 開発プラットフォーム「ミドルウェアeBASE」を利用し、顧客別にカスタマイズした商品DBソフトの開発販売は、スマートフォン、タブレット端末の普及で市場ニーズが高まり、業界を問わずに引き合いが増加しているものの、一部案件で受注遅れや検収遅れが発生する状況となりました。この結果、売上高は、計画比で減少となるものの、前年同四半期比では増加となりました。

[コンテンツマネジメントソフト開発/ミドルウェアeBASE]

CMS (Content Management System) 開発プラットフォーム「ミドルウェアeBASE」を利用したCMS受託開発ビジネスの中長期策として、その継続的機能強化と共に、パートナー企業の開拓を推進しました。特に、商品マスターだけでなく、顧客マスター、社員マスター等、基幹系システムのマスターデータマネジメントシステムとしての“eBASE”の販売促進を始めました。当面の受注活動に関しては、昨年度の追加案件を中心に行いました。これらの結果、売上高は、計画比及び前年同四半期比でも減少となりました。

これら重点事業領域に適合した製品開発をタイムリーに行うために積極的に開発投資を先行して行いました。結果、当社グループ製品の利用者は、累計で8万9千ユーザー超(平成25年6月末日現在)となり、商品情報交換の標準プラットフォームとして業界毎に商品情報交換の業界全体最適化の普及、標準化は順調に進行しております。

この結果、eBASE事業の売上高は、178,537千円(前年同四半期比28,821千円減)、経常損失11,151千円(前年同四半期比41,458千円減)となりました。

## (ロ) eBASE-PLUS事業

既存IT開発アウトソーシングビジネスでの顧客ニーズの迅速な把握と対応による案件獲得に注力し、新規人材採用による稼働率向上と安定を図りました。また、「eBASEソリューションビジネス」としてeBASE事業のミドルウェアビジネスとの相乗効果ビジネスの創造を継続して推進しました。既存IT開発アウトソーシングビジネスは、順調な人材採用が継続してできたことで外部委託が減少したものの、前年度、第3四半期からのeBASE事業のIT開発アウトソーシングビジネス移管による増加がありました。これにより外部売上高は、計画比で微増となり、前年同四半期比でも微増となりました。

この結果、eBASE-PLUS事業の売上高は、417,097千円（前年同四半期比1,100千円減）、経常利益42,075千円（前年同四半期比26,871千円増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第1四半期末の総資産は前連結会計年度末に比べ、132,587千円減少し1,663,433千円となりました。主な要因は現金及び預金が82,887千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が235,378千円減少したこと等によるものであります。

## (負債の部)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、94,626千円減少し210,915千円となりました。主な要因は未払法人税等が79,086千円減少したこと等によるものであります。

## (純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、37,961千円減少し1,452,517千円となりました。これは主に、四半期純利益を17,917千円計上した一方で、配当金の支払を56,507千円行ったことにより利益剰余金が減少したこと等によるものであります。これにより自己資本比率は86.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました連結業績予想から変更ございません。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	856,390	939,278
受取手形及び売掛金	518,674	283,295
仕掛品	2,206	5,535
その他	14,609	26,218
流動資産合計	1,391,880	1,254,327
固定資産		
有形固定資産	11,597	20,125
無形固定資産		
のれん	40,585	36,895
その他	3,443	3,140
無形固定資産合計	44,028	40,035
投資その他の資産		
投資有価証券	317,091	316,933
その他	32,297	32,886
貸倒引当金	△875	△875
投資その他の資産合計	348,514	348,944
固定資産合計	404,140	409,105
資産合計	1,796,021	1,663,433
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,794	14,864
未払法人税等	97,300	18,213
その他	185,749	177,174
流動負債合計	304,844	210,252
固定負債		
その他	697	663
固定負債合計	697	663
負債合計	305,541	210,915
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	190,349	190,349
資本剰余金	162,849	162,849
利益剰余金	1,176,186	1,137,596
自己株式	△47,396	△47,396
株主資本合計	1,481,988	1,443,398
新株予約権	3,546	3,973
少数株主持分	4,943	5,145
純資産合計	1,490,479	1,452,517
負債純資産合計	1,796,021	1,663,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	614,384	593,965
売上原価	378,715	353,764
売上総利益	235,669	240,200
販売費及び一般管理費	196,172	210,301
営業利益	39,496	29,899
営業外収益		
受取利息	877	735
貸倒引当金戻入額	2,941	—
その他	1,323	74
営業外収益合計	5,142	809
営業外費用		
為替差損	5	—
営業外費用合計	5	—
経常利益	44,633	30,708
税金等調整前四半期純利益	44,633	30,708
法人税、住民税及び事業税	9,066	17,721
法人税等調整額	8,233	△5,131
法人税等合計	17,300	12,589
少数株主損益調整前四半期純利益	27,332	18,119
少数株主利益	180	201
四半期純利益	27,152	17,917

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	27,332	18,119
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	27,332	18,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,152	17,917
少数株主に係る四半期包括利益	180	201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

簡易株式交換による連結子会社（eBASE-NeXT株式会社）の完全子会社化について

当社及び当社の連結子会社であるeBASE-NeXT株式会社（以下、「eBASE-NeXT」という。）は、平成25年7月31日開催のそれぞれの取締役会において平成25年9月1日（予定）を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、eBASE-NeXTを株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、両社の間で株式交換契約を締結いたしました。

詳細につきましては、本日、別途公表の「簡易株式交換による連結子会社（eBASE-NeXT株式会社）の完全子会社化に関するお知らせ」をご覧ください。